

埼玉の農業を引っ張ります!

さいたま農村女性アドバイザーネットワーク

郷音



活動紹介パンフレット



どりーむ  
**土里夢** 熊谷市、深谷市、寄居町

私たちの地域は、県全体の農業生産額の約4分の1を占める埼玉農業の中心的な農業地帯を形成しています。水稲や麦に加え、露地・施設野菜、花き、畜産が盛んです。日々の農作業だけでは外部との交流が少なくなりがちですが、視察や研修などを開催することで、知見を広げ、新たなネットワークづくりにも力を入れています。令和7年は会員が新規開店した直売所や全国植樹祭(深谷サテライト会場)の視察、県内で活躍している女性農業委員会長を講師に招いた研修会・交流会などを開催しています。



みどり  
**実土里** 行田市、加須市、羽生市

私たちの活動地域は埼玉県北東部に位置し、肥沃な土壌と豊かな水に恵まれています。水稲作付面積は県全体の約4分の1を占める県内随一の穀倉地帯です。会員の経営類型は様々ですが、経営を支えるという目的は同じなので、会員同士が仲良く楽しみながら学べる企画を行っています。最近の活動を紹介すると、羽生市の藍染体験で伝統工芸を学んだほか、毎年実施する県外視察では山梨県農業女子の農産物加工体験・民泊を視察しました。また米粉料理講習会を毎年行うなど農産加工の研鑽も行っていきます。



さつきかい  
**彩土輝会** 久喜市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町

私たちの活動地域は県東部に位置し、多方面への交通利便性に恵まれた地域です。農業も盛んで、梨やいちごは県内有数の産地となっています。会員の生産物には、水稲や梨のほか、いちごや、トマト、きゅうりなどの施設野菜、酪農で生産する生乳、米を使った加工品などがあり、多彩な農業経営が行われています。会では視察研修や料理講習会、会員間の交流を目的にハーバリウム制作なども行いました。県内外の女性農業者に広く意見を聞くことのできる環境は会員のモチベーションアップにつながっています。



**本庄地区** 本庄市、美里町、神川町、上里町

私たちの活動地域は、米麦や露地・施設野菜(なすやいちご)、畜産、果樹、花きなど地域の特性を活かした農業が行われています。管内のアドバイザーは自身が生産する農産物の加工や販売に加え、農産物加工に取り組む農業者への支援も行っています。また、生産活動以外にも幅広く活動しており、複数のアドバイザーが農業委員やJA役員などの要職を経験し、女性農業者の社会参画を積極的に実現しています。今後も、本庄地区の農業の振興と女性農業者の活躍の場を広げるために活動していきます。



さいたま農村女性アドバイザーネットワーク『響』各地区の紹介



埼玉県の農業データ

面積	経営耕地総面積	埼玉県の人口	基幹的農業従事者数	内、女性農家人口	農業産出額(全国の順位)
3,798km <sup>2</sup>	51,525ha	733万人	37,683人	14,611人	1,929億円(20位)

面積:令和7年4月1日 国土地理院公表データより | 人口:令和7年4月1日 総務省公表データより  
経営耕地総面積、基幹的農業従事者数、女性農家人口:農林業センサス2020より | 農業産出額:令和6年 農林水産省統計情報より

**あぐりの友** 春日部市、越谷市、八潮市、三郷市、蓮田市、吉川市、松伏町

私たちの活動地域は県東部地域に広がる平野と豊かな自然を活かし、果樹類や水稲、葉物野菜、果菜類の生産が盛んです。また、山東菜の漬物や小松菜ふりかけなど、加工品も充実しています。日々の情報交換会や定例会に加え、年に1回、現地視察会を開催し、生産者や農産物直売所の視察を行っています。研修会では会員同士が情報を共有し、農業の知識や意欲を高める貴重な場となっています。「あぐりの友」での経験を活かし、アドバイザーとして、地域農業や女性の活躍に貢献したいと思います。



さいのかい  
**彩の会** 秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町

私たちの活動地域は、埼玉県西部に位置し、荒川源流の山々に囲まれた自然豊かな土地です。古くから養蚕や林業が盛んで、秩父夜祭などの伝統文化も息づいています。昼夜の寒暖差や中山間地の地形を活かし、多彩な農林産物を生産しています。また、地域の味を大切に加工品(こんにやく、しゃくし菜漬けなど)生産にも取り組み、秩父らしい農業の魅力を発信しています。「彩の会」としては定期的な情報交換会や研修会などに加えて、自ら育てた農林産物を詰め合わせた宅配事業も展開しています。



とつとのかい  
**土っ土の会** さいたま市、川口市、鴻巣市、上尾市、草加市、蕨市、戸田市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、北本市、伊奈町

私たちの活動地域は高速道路や主要道路網が発達した県南部の交通の要衝で、県内で最も都市化が進んでいる地域です。農産物は水稲や北本のトマト、朝霞のにんじん、鴻巣の花(パンジー、シクラメン等)などを軸に、ヨーロッパ野菜や6次産業化商品などの都市近郊の地の利を活かした少量多品目栽培による直売が盛んです。交流会や講習会の開催(米粉講習会、フラワーアレンジメント、ポップ作成など)、隔年で日帰り・宿泊視察研修(会員内外の女性農業者との交流・ほ場視察など)を企画しています。



みのりかい  
**美野里会** 飯能市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、毛呂山町、越生町

私たちの活動地域は、自然豊かな環境と都市近郊の利便性を兼ね備えています。果樹や露地野菜をはじめとして多様な農業及び林業が盛んに行われています。また、自身の生産物を用いた加工品生産やカフェを営む会員、林業分野(西川材)で活躍されている方もいます。会員同士の交流やスキルアップのために様々な研修会を企画し、生産物の価値向上などに取り組んでいます。地域の女性農業者の力を引き出し、つながりを育む存在として、県内に限らず企画運営や情報共有のサポートを行っています。



ののほなかい  
**農の華会** 東松山市、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、東秩父村

私たちが活動する比企地域は、山間部からの多くの水源が最終的に平野部の荒川へ合流する埼玉県の縮図のような地域です。平野部では水稲や露地・施設野菜の生産が盛んで、特に吉見は県内でも有数のいちごの産地です。山間地では農産加工が盛んに取り組み、古くからの加工技術が付加価値を生み出しています。令和7年はピクルス研修会の開催や地域の大学祭への出店などに加え、会員のお母様を訪ね、地域農業の特性や加工技術についてお話を伺い、農山村に受けつがれる知識や技術を学びました。



ときめき  
**土生女輝** 川越市、所沢市、狭山市、入間市、富士見市、ふじみ野市、三芳町

私たちの活動地域は多様な自然がありながらも、都心へのアクセスが良い、ベッドタウンや都市的機能があります。加えて川越の小江戸、日本三大銘茶の狭山茶、世界遺産認定の武蔵の落ち葉堆肥農法などの文化観光資源も多く、沢山の観光客が訪れます。会員の生産品目は水稲、露地・施設野菜、茶、畜産など様々です。日々の農業に関する情報交換に加え、研修会では芸術分野も取り入れた幅広い活動を行っており、会員同士楽しく交流を深めています。



# さいたま農村女性アドバイザーって？

女性農業者の社会的役割の向上及び農業・農村における男女共同参画の推進を目的に、農業経営や地域社会に参画している女性農業者を埼玉県知事が認定しています。

## 認定の要件は？

- 農業経営、農産物活用等に優れた技術があり、地域リーダーとして指導・助言ができる
- 年齢が35歳以上65歳以下である など

## 期待される活動内容は？

- 農業委員会等へ女性役員の登用促進の働きかけ
- 女性農業者の役割向上と農業・農村での共同参画の推進・各種研修会の講師 など

# わたしたち『響』の活動を紹介します

## 1 仲間とつながり、情報交換をします！

コロナ禍前には国内各地にて研修旅行を行っていました。写真は平成30年の北海道研修旅行の様子です。前年度から『響』の中に実行委員会を定め、会員で話し合い、行先や日程などを決めました。当日は33名の会員の方が参加し、現地視察や道内の女性農業者との交流会を開催しました。経営規模や扱う農作物の違いに発見や驚きの連続であり、活発な情報交換を行うことができました。その時、連絡先を交換した他都道府県の方々とは交流を今も続けています。こうしたつながりの形成や幅広い情報を得る機会を設けることができるのが『響』の魅力の一つです。



## 2 各地区の文化や風土を学びながら交流しています！



『手づくりアドバイザーの会』は、県内の農村女性アドバイザーが一堂に会し、相互研鑽・交流を行い、自らの経営・生活改善と地域農業の発展に資することを目的に行う研修会です。

各地区のアドバイザーが持ち回りで開催しており、令和6年度は加須地区農村女性アドバイザー「実土里」が「地域食材を用いた食育」をテーマに開催し、県内84名が参加しました。

各地区で主催しているの、長く在籍していると県内全域の文化や風土を学ぶとともに、新たなネットワークの構築をすることができます。

## 3 研修会など、みんなで活動を作っています！

令和7年10月24日に埼玉県西部地域にて『響』の視察研修会を開催しました。午前中は埼玉県茶業研究所にて「狭山茶」について産地の歴史や今後の販売方針などを学びました。また、お湯の温度や抽出時間の違いによる味や香りの変化を体験しました。

午後は三芳町にて露地野菜農家を視察し、循環型農業の特徴や農産加工品について学びました。

コロナ禍が明け、活動の活発化を目的に会員の発案の元、みんなで意見を出し合い作り上げた研修会は36名の会員が参加し、充実したものとなりました！



あなたも  
アドバイザーに  
なりませんか？



問い合わせ先

埼玉県 農林部 農業支援課 普及活動担当

☎ 048-830-4050

※もしくは、お近くの農林振興センターまでお願いします。